



ゴール
ドッジ

2016 Season

3rd



2016年度 第3回ゴールドッジ大会

<大会報告書>

2016年11月18日



【開催要項】

日 時	2016年 11 月13 日(日曜日)
会 場	千代田区立麴町中学校 体育館 千代田区平河町 2-5-1 東京メトロ線 永田町駅5番出口より、徒歩3分
主 催	日本ドッジビー協会 DBJA
主 管	千代田区ドッジビー協会 DBAC
協 賛	文化シャッター株式会社 東京キンビバレッジサービス株式会社 ワタミ株式会社
部門／資格	年齢性別区別なし（小学生高学年以上を推奨）
表 彰	優 勝 準優勝 第三位 を小学生部門／一般部門、それぞれ表彰。 表彰副賞として 東京キンビバレッジサービス提供 優勝チームに、 K I R I Nロゴ入りドッジビー270ディスク 表彰全チームに 555ml スポ°ツドリンク キンラブズスポ°ツを人数分
参加賞	すべての参加者(選手申込者)に対して以下を各1贈呈。 ・文化シャッターご提供 = ソーラーLEDライト ・東京キンビバレッジサービスご提供=555mlドリンク ・ワタミご提供 = グループ共通お食事券(500円)

【競技方法】

<対戦組合せ>

過去、ゴールドタッチ大会においては、あえて年齢等の考慮をせずに組合せて実施してきましたが昨今、小学生～50歳代までの参加者にお集まりいただいています。

これは普及が進んだ、良い意味での進化であると考えておりますが、スロー技術とともに身長やスピードなど比較的競技性の高さが求められる種目のため、対戦においては小学生だけで構成されたチームが成人だけで構成されたチームに勝利することは至難であることも事実として認識しています。

今回、小学生チーム×5、混成および成人×9、合計14チームの申込みをいただきましたので、小学生部門／一般部門の2カテゴリーに分類して試合をおこないました。

<対戦形式>

小学生部門 ➡ 5チームの総当りリーグ戦。

一般部門 ➡ 1次リーグ戦＝4リーグ×各3チーム。

2次リーグ戦＝1次リーグ成績の1位／2位／3位リーグ。

両部門、勝点制で順位を決定しました。

<ルール>

日本ドッチビー協会公式ルールで実施。

以下項目は大会独自ルールを採用。

- 1) 試合人数 / 全試合4名。
- 2) 試合時間 / 全試合、前／後半各6分、ハーフタイム1分
- 3) 同点扱い / 規定時間終了時、同点の場合、引き分け（勝点制）

※大会結果／対戦スケジュール（当日タイムスケジュール）は別紙、参照

【最終成績】

小学生部門	優勝	:	NDCウソップ
小学生部門	準優勝	:	G u t s 柏木
小学生部門	第三位	:	大乱闘中
一般部門	優勝	:	M. D. C (武蔵野市ドッチビークラブ)
一般部門	準優勝	:	T T V
一般部門	第三位	:	新城 s t y l e

【参加チーム一覧】

小学生部門		大人	小人	計
ウエストシックス Jr. 5年生 (荒川区)		0	7	7
大乱闘中	5年生 (荒川区)	0	11	11
G u t s 柏木	4 / 6年生 (新宿区)	0	7	7
NDCウソップ	6年生 (足立区)	0	8	8
尾久西ヴァイクティニス`MAX	4 / 6年生 (荒川区)	1	8	9

一般部門		大人	小人	計
ねぎちる	混成 (企業)	6	2	8
ウエストシックス	中学生 (荒川区)	0	10	10
M. D. C	混成 (武蔵野市)	7	1	8
T E A M大成有楽	成人 (企業)	7	0	7
NDCヤソップ	混成 (足立区)	5	2	7
T T V	混成 (北区)	4	2	6
Fantastic 7	混成 (北区)	4	2	6
尾久西ヴァイクティニス`	中学生 (荒川区)	0	8	8
新城 s t y l e	大学生 (神奈川県)	10	0	10

●チーム総合計 : 14チーム

●参加選手総数 : 112名

内訳/小人 (中学生以下) 41名

/大人 71名

◆大会関与者総合計 151名

●大会関係者総数 : 39名

◆観戦・引率保護者数 約70名

内訳/チーム監督・コーチ 30名

/主要スタッフ 9

大会関係者総合計 約220名

【講 評】

11月13日(日曜日)朝から快晴、気温は暑くもなく、寒くもなく、非常に快適な気候に恵まれた中、DBJA主催による今年度、3回目の開催となるゴールドドッチ大会がおこなわれました。会場も今回で3回連続となる千代田区立麴町中学校の体育館。千代田区ドッチビー協会役員の多大なるご尽力をいただき、好立地な場所での固定化が実現しましたことに心より感謝いたします。



前回、第2回大会は募集枠12に12チームの申込み、枠いっぱいでの実施でしたが今回は、募集枠12に対して14チームから参加の申込みがありました！！

14チームの内訳は小学生＝5、中学生＝2、大学生＝1、混成＝5、成人＝1、となって参加者の年齢も下は6歳、上は50歳と、本当に多岐にわたる方々からの参加希望をいただきました。

主催者としては募集段階では部門分けを想定しませんでした。この結果を鑑み、急遽、小学生5チームを小学生部門、中学生以上の9チームを一般部門とした2部門で構成、1試合の時間を短縮し、ご要望のあった14チーム全てにご参加いただけるよう、試合形式を変更しての開催としました。

ゴールドドッチは少人数でチームを組めるとはいえ、着実に普及していることの証明であり、協会のスタッフのみならず、チーム関係各位による日頃の支援・指導によってのことと思われます。

あらためて御礼申し上げます。

ありがとうございます。





参加選手 110 名、応援その他 関係者合計、約 220 名が集い、予定通り、8:50より開会式を開始。池田友規千代田区会長のご挨拶をいただき、9:15には第1試合をスタート！！

小学生部門は5チームの総当りリーグ戦、全10試合での対戦としました。全体的にはレベルが均衡しており、白熱した試合が続出。5点以上の点差が離れる、いわゆるワンサイドゲームは全10試合中、3であり突出した強豪チームは不在。と言えるのではないのでしょうか。今後も面白いゲームが見られそうで、目が離せません！



一般部門は1次、2次、各3チームによるリーグ戦、各チーム4試合を戦いました。



上位進出常連のMDC / TTV / 新城(横国)の3チームが1次で順当に1位リーグへ進出。2次リーグの勝敗は全て1勝1敗の勝点3で並びとなり実力、均衡！得失点での順位決定となり、MDCが勝利！

試合の結果は別紙をご参照ください。

DBJAは今年9月に全種目の改定ルールを公表しましたが、その後初開催となった今大会は新ルールを適用する最初の機会になりました。このことからルール把握の促進策として、各チームメンバーから選出のうえ、副審を担っていただきました。



前回、第2回大会でも同様の取組みを大会後半でおこなったこともあってか各チームのルール把握と理解は進んでいるように見受けられました。また全体的にゲームの展開がかなり早くなっており、着実にレベルアップしているように感じました。



さらにメンバーチェンジの工夫をおこなうチームが増えており、ルール活用の研究も進んでいると感じました。主催者として、今回の会場におけるルールスペックとしてコートサイズ=18×25^{メートル}、ゲーム人数=4名としましたが、それらを考慮すると、フルスペック(20×40^{メートル}/5名)での大会開催が必要ではないか？と感じました。

一方、反省点として終日、ゲーム進行が押し気味で推移、チーム増により変更した時間設定の見通しに甘さがあったことを痛感しましたが、今回も大きな事故なく表彰式まで進み、スポンサー各社様よりご提供いただいた参加賞を全チームに配布しました。その後の閉会式では協会代表より



今後の大会予定などをお伝えして閉会挨拶とさせていただき、関係各位のご協力により、今回も無事全プログラムを終了することができましたことを感謝いたします。

